

現場レポート

各地で海事産業見学会を実施(福岡運輸支局 門司港庁舎)  
～海事産業の将来を担う人材育成に向けて～

小学生向け「海事産業見学会」を実施～暮らしに不可欠な長距離フェリーの船内を体感～

福岡運輸支局は、11月28日(火)、海事産業の重要性や魅力などを認識してもらう取組みとして、北九州市門司区の阪九フェリー(株)、(株)名門大洋フェリー、オーシャントランス(株)の長距離フェリー3社に協力いただき、苅田町立苅田小学校の小学5年生104名のフェリーの船内見学を行うとともに、海の重要性を学ぶ出前講座を実施しました。

見学会では、客室、レストランなど旅客として体験できる場所のほか、船を操船する操舵室、貨物を積み込む広大な車両甲板など普段は立ち入ることのできない場所も見学させていただきました。また、船で働く方々から直接話を聞く時間が設けられ、どのように1日を過ごしているか、船員の仕事の大変なところなどの質問が寄せられていました。



線内の広大なスペースにびっくりです



船を操船する操舵室は機器でいっぱいです



レーダーを見て勉強中です



船の心臓部の機関室も体験しました



広々としたレストランもありました



海の重要性をみんなで学びました